

# 米倉教公の週間為替市場見通し

4/3 日週号

ドル/円予想レンジ 103.00 - 109.90 円

## 『FRB 要人発言と米中首脳会談に注目！』

### ■今週の市場動向：今週のドルはもみ合い商状！

今週のドル/円週足では、小陽線となったが、上値・下値切り下げる弱い展開が続いている。週明けは、前週末にトランプ米大統領がオバマケアの体大法案の採決を断念したことを受け、先行き懸念からリスク回避の売りが優勢となり、一時 110.07 円まで下落した。28 日は、米 3 月消費者信頼感指数が市場予想を大きく上回ったことでドルが切り返したが、日経先物が再び下落すると 110.15 円まで売り込まれた。ただ、下値では本邦長期資金のドル買いが観測されたとの指摘もあり、ストップロス巻き込み上昇した。29 日は、『EECB は金融政策転換に慎重』との報道を受けてユーロ/円が急落すると 110.70 円台まで下落したが下値は限定的だった。30 日は、米 10-12 月 GDP 確定値が改善したことや米長期金利の上昇を背景に 111.90 円台まで上昇した。31 日は、年度末・月末に絡んだドル買いが持ち込まれると 112.20 円付近まで上昇した。ただ、ダドリー NY 連銀総裁が『金融政策を引き締める緊急性は強くない』と発言すると米長期金利が低下したことでドル売りが優勢となった。

### ■来週の注目点：FRB 要人発言と米中首脳会談に注目！

トランプ米政権の政策運営を巡る先行き懸念や、仏大統領選を巡る不透明感根強く、上値では利益確定売りも出やすい。今週の FRB メンバーではタカ派・ハト派発言にそれぞれ反応したことから、来週も内容次第で上下に振れる展開に注意。週末に米中首脳会談を控え、トランプ政権による貿易政策や税制改革の行方も相場に影響を与えそう。税制策では、潜在的にドル高につながると思われる国境税の行方が注目される。ただ、税制策の具体的な対策の遅れが警戒材料となっており、短期的にドル売りの上値を抑制する可能性が高い。週初に日銀が 3 月の短観を公表するが想定為替レートに注目。上値目処は、20-21 日高値 112.89 円や 16-17 日高値の 113.56 円、下値目処は 30 日安値 110.91 円、28 日安値 110.15 円、200 週線の 110.13 円、27 日安値 110.07 円、一目均衡表の週足基準線の 109.90 が目処となる。



### ★今週の気になる出来事

今週は久しぶりに『鯨』が深海から急浮上し。水面上で潮を噴き上げる場面が見られた。28日に米経済指標結果が良好にもかかわらず、短期筋の110円割れトライの場面が見られた際に、何度も下押ししながらも、次々にビットが入る展開に短期筋はストップロス巻き込み110円前半から111.20円台まで踏み上げ相場となった。要するに110円割れは阻止したいとの意図が組み取れる。また、110円台半ばでは未だに『鯨』が徘徊しているようなので、下押しでは110円台半ばでの攻防戦となりそうだ。

### ■テクニカル的な見解：短期的には戻り基調も中期的には下落継続中！

シカゴ IMM 投機筋の 3 月 21 日付け対米ドルの差し引き持ち高は、円は前週の▲66,987 から▲53,181 へと売り持ちは前週から減少した。パラボリック (パラメータ：0.08、0.3) では、30 日から買いが継続中。3 日の SAR は 110.53 円までの下落で売り転換となる。MACD (パラメータ：12、26、9) では、デットクロスが継続だが、MACD がやや上向きになってきた。ストキャスティクス・スロー (パラメータ：14、3、3、20、80) では、%K：26.29、%D：22.38 と売られ過ぎ域まで下落後緩やかに上昇中。75 日線 (紫線) を上値抵抗ラインとなり下押し。200 日線 (茶線) の 108.38 円の上に位置していることから、上昇基調は維持している。ロウソク足は、14 日をピークとし上値・下値切り上げとなっており、上昇基調となっている。短期的には戻り基調であるが、週足では上値・下値切り下げとなっているので注意。

本レポートについての注意事項は巻末をご覧ください。必ずご確認ください。

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 22 総合第 1351 号,経済産業省平成 22・12・22 商第 6 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

**【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】**

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

**【価格変動リスク】**

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

**【レバレッジリスク】**

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

**【信用リスク】**

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

#### 【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

#### 【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

#### 【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

#### 【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

#### 【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

#### 【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

#### 【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

#### 【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。